

土壤汚染の実態データベース化 宮城県が方針



The Knights

土壤汚染対策法の施行をうけ宮城県は、地質データや土壤中の有害物質含有量などの環境情報をデータベース(DB)化する方針を決めました。土壤汚染対策の計画づくりに役立てるとともに入力情報を地図化してホームページ(HP)上などで紹介し、環境に対する県民意識の啓発に活用する。

DB化するの(1)自然的要因で有害物質の濃度が高い地域の土壤データ(2)県内の地質データ(3)モニタリングで選んだ地域の地下水の汚染濃度、土壤中の有害ガス濃度、有害物質の土壤含有量など。当面は12項目のDB化を予定している。

また、これまで調査していなかった乾燥土壤中の有害物質含有量や、自然的原因で検出される砒素などの汚染範囲については、土壤汚染防止法で調査対象となったため、新年度から調査を実施し、随時入力する。

入力情報のHP上での地図化では、地理情報システム(GIS)を使って県の地図上に有害物質の濃度と検出場所、汚染状況などのデータを落とす。この他、廃棄物処分場の場所なども一目で分かるようにする。

土壤汚染対策法は2月15日に施行され、26種類の化学物質に基準を設けました。都道府県知事が、土壤汚染により健康被害が生じる恐れがあると認められるとき、地域を指定し、汚染土壤の除去、土壤の入れ替えなどの措置を取るよう命令することが出来る。県はこうした場合に、迅速かつ適切に対応するためにもきめ細やかなDBの構築を目指し、県環境対策課ではデータベース化で総合的な土壤汚染対策を図っていくそうです。

資料: 河北新報 2003年2月28日

環境分析センター 岡田 光代

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 6 製品開発・品質管理に伴う化学分析 |
| 3 水道法第20条に基づく水質検査 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 土壤汚染対策法に基づく土壤汚染状況調査 | 8 委託試験・研究・開発 |

